

成果報告書 概要

事業名:住宅建築技術国際展開支援事業(うち住宅建築プロジェクトの円滑化に関する事業)

<目次>

1. 事業の目的・背景
2. 実施スケジュール表
3. 事業実施内容の概要
4. 実施体制図

1. 事業の目的・背景

- 1) ベトナムにおける日本型木造省エネルギー住宅の設計施工に関する人材育成、日本型木造省エネルギー住宅の施工・管理に関する専門的な知識と技術を持つ人材を育成することで、ベトナム国内において日本基準の高品質な木造省エネルギー住宅の建設が可能となる環境を整える。具体的には、日本の木造建築技術と最新の省エネルギー技術を習得できる研修プログラムを実施し、設計・施工・品質管理の各分野において実践的なスキルを身につけた人材を輩出する。これにより、現地における安定した供給体制を確立し、日本型木造省エネルギー住宅の普及促進と持続可能な建築産業の発展に貢献することを目指す。
- 2) ベトナムにおける日本型木造省エネルギー住宅普及のためのベトナムの一般に対する技術情報の提供展示会への出展を通じて、ベトナム国内における日本型木造省エネルギー住宅の認知度向上を図るとともに、その優れた断熱性能や環境への配慮、省エネルギー効果に加え、住宅を長期間維持するための高耐久・高耐候技術やメンテナンス性の高さを広く周知することで、現地の市場に適した形での普及を促進することを目指す。

2. 実施スケジュール表

3. 事業実施内容の概要

1) ベトナムにおける日本型木造省エネルギー住宅の設計施工に関する人材育成

- ① セミナー会：木造住宅の環境性能と可能性を提示。将来のパートナー候補となる学生とのネットワークを構築した
- ・実施日：2025年11月27日（木）（10：00～12：00）
 - ・参加者：和建築設計事務所（主催）、ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学、国立大学法人信州大学工学部建築学科教授、森林産業研究所（RIFI）、ヤマト住建株式会社、ホールディングス株式会社（綿半林業）



ベトナム・ホーチミン工科大学のセミナーを行う（写真 3.1.1）

② 実践的人材育成

綿半林業での実習生の受け入れ準備および採用を達成いたしました。人材3名を選抜。2026年2月末より2名が先行して来日、1名が追って合流する体制を整備。ビザ取得プロセスを含め、継続的な人材受け入れのスキームを確立した。

- ・面接日：2025年7月1日（火）（11：00～13：00）
- ・出席者：綿半ホールディングス 加藤 祐哉、綿半林業 吉田様、トータルワーク組合団体
- ・結果：3名を採用しました

1. Tran Thanh Hoa（23歳）
2. Nguyen Van Thong（32歳）
3. Dang Minh Tri（25歳）

RIN 建築の木造宿泊施設への居住実習生たち：自社建設の木造住宅に実際に居住し、日本の冬の寒さに対する断熱性能や、木の調湿機能を24時間体制で体感したく考えております。



居住実習生
(写真 3.1.2)

2) ベトナムにおける日本型木造省エネルギー住宅普及のためのベトナムの一般に対する技術情報の提供

① 木造住宅に関する調査

・調査日：2025年6月28日～7月1日

・出席者：

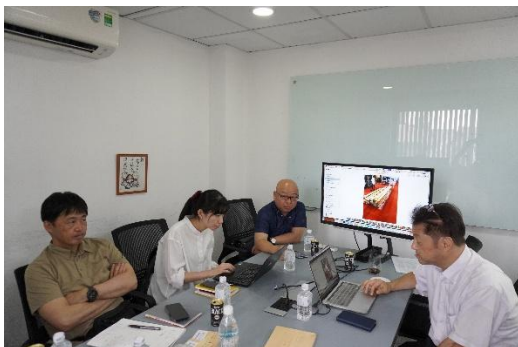
綿半ホールディング（株）：木下 晃、鷲美 克実、加藤 裕哉、タム

綿半林業（株）：横山 大二、長谷川 和秀

和建築設計事務：青木 和壽

Issho Asia Company Limited: 菊川 昌彦

・調査内容：ベトナムに日本型木造省エネルギー住宅の聞き取りの調査、建設に関する展示会に視察



展示会向けの会議

展示会に視察

(写真 3.2.1)

② VIETBUILD の展示会に出展

・展示会時期：2025年9月22日～28日

- ・ 展示場： National Exhibition Construction Center – 01 Do Duc Duc Street, Tu Liem Ward, Hanoi City, Vietnam
- ・ 展示内容： VIETBIULD に出店し、日本型木造省エネルギー住宅の優れた断熱性能や環境への配慮、省エネルギー効果を広く周知する。



ハノイ・VIETBUILD の展示会に出展
(写真 3.2.2)

- ・ 成果：先般開催された Vietbuild ハノイにおいて、当社の日本型木造住宅展示ブースは来場者から非常に高い関心を集めました。特に若年層を中心に、日本の文化的特長を備えたシンプルな木造住宅に関する関心が高く、自宅にしながら日本文化に体感できる柱空間として評価されました。一方で、木造住宅の普及にあたっては、シロアリ対策が依然として重要な検討課題であり、建設を検討するすべての層に共有する懸念点となっています。また、東南アジア地域での展開を見据えるうえでは、コスト面の最適化も慎重に検討すべき要素です。これらの課題はあるものの、市場の反応を踏まえると、ベトナムは日本型木造住宅を発展させるうえで依然として高い潜在性を有する有望な市場である評価できます。
- ③ ベトナム・ハノイの検討委員会
- ・ 会議実施日： 2025年9月26日
 - ・ 委員会先： 森林産業研究所 (R I F I)
4 6 Duc Thang Street, Dong Ngac Ward, Hanoi City, Vietnam
 - ・ 出席者： 森林産業研究所 (R I F I)： Dr. Vo Dai Hai (研究所の院長)、 Dr. Nguyen Duc Thanh, Dr. Vu Thi Hong Tham
綿半ホールディング： 木下 晃、竹村 夏樹、 Le Thi Minh Tam
 - ・ 内容： シロアリ対策、木造住宅に関する事業の開拓の予定
 - ・ 成果： ベトナムの森林産業研究所 (RIFI) においては、木材の防蟻処理によりシロアリ被害への対応が可能であることが確認されました。一方で、処理方法はコスト面において高額である点が課題として挙げられます。RIFI の情

報によれば、研究所内で木材処理を行い場合、約12-15年間あたりシロアリ対策効果を保証できるとされています。また、ベトナム国内における木造住宅の普及促進を目的として、モデル木造住宅の建設が提案されました。研究所が貸与可能な未利用地を活用し、モデル住宅を建設することで、国内企業や関連機関に向けた展示・広報・技術紹介の拠点としての活用が期待されます。当社としては、2026年にシロアリ処理の試験実施を検討することともに、ハノイに所在する RiFi 工場の視察を実施し、技術内容および実用性の確認を行いました。



ハノイ・森林産業研究所 (RiFi)

(写真 3.2.3)

④ 加盟店のセミナー会

- ・セミナー会実施日：2025年10月7日～8日
- ・セミナー会場：ANA クラウンプラザホテル新潟 (1日目)

モデルハウス視察 (2日目)

- ・出席者：綿半ホールディングス 木下 晃、綿半林業 長谷川 和秀
- ・内容：夢ハウスビジネスパートナー総会

差別化の武器はここにある～想いと体感がつなぐ本物の家づくり～



セミナー会実施

(写真 3.2.4)

- ・成果：素材のこだわりを軸に、体感と想いで提案力を高めることを目的として実施しました。

全国から集まる加盟店に対して、独自の素材を生かした工法やデザインを紹介し、海外（ベトナム）への進出と連携を進めている活動を紹介しました。自社でも参加したいという期待を得られました

⑤ 日本・浜松の検討委員会

- ・会議実施日：2025年11月8日
- ・委員会先：下屋のある家 浜松モデルハウス

〒435-0056 静岡県浜松市中央区小池町266

[浜松店 | 取扱店・モデルハウス情報 | コットン1/2の家](#)

- ・出席者：国立大学法人静岡大学農学部： 教授 小島 陽一、准教授 小堀 光
鈴与株式会社 森 貴浩
森林産業研究所 R I F I : Dr. Vu Thi Hong Tham
綿半ホールディングス：木下 晃、竹村 夏樹、レーティミンタム
綿半林業：横山 大二、長谷川 和秀

・内容：

- i) ベトナムに木材産業報告書2025年版
- ii) ベトナムにおける木材加工産業向けの木材種類
- iii) シロアリ実験の結果報告
- iv) ベトナムにおける木造住宅建設の発展概要
- v) ベトナムの交通事情の報告

- ・成果：ベトナム国内に木材、木造住宅の情報を共有しました



浜松モデルハウスで会議

(写真 3.2.5)

4. 実施体制図

